



「習うより慣れよう情報化社会」

情報教育部

今回の担当は情報教育部です。情報教育部の主な業務は、コンピュータ機器・視聴覚機器の整理と管理です。簡単にいうとパソコンやiPadなどを使いやすいように準備をしたり、いろいろな使い方がわかるように説明したりします。学校の電気屋さんみたいとも言われます。

ICT(情報通信技術)教育の話になりますが、現在の学校教育では児童生徒に、「情報活用能力を言語能力などと同様に学習基盤となる資質・能力として育成を図る。」ことを目指しています。ここの「情報活用能力」とは、学習でコンピュータやインターネットを適切かつ安心安全に使いこなすことができる力です。そのため、学校ではWi-Fiや児童生徒一人一台iPadが整備され、現在様々な学習場面で活用されています。しかしコンピュータに関して、毎年新たなアプリやサービスがたくさん登場してきているので、その全てを学校で扱うことは残念ながら難しいです。その中から本当に必要なもの、効果があるもの確かめて、使い方などを考えることも情報教育部の仕事です。ここ最近ではデータの保管庫であるストレージサービスやGoogleドライブ、みんな大好きなYouTube、チャットGPT、X(旧Twitter)、LINE、Instagram、オンラインで行える学習教材などを扱ってきました。

その中から一例として今回はYouTubeについて紹介します。以前、コロナ禍で登校が難しい時に活用したことがありますが、今回は少し趣向を変えてみました。2024年の中学生男子のなりたい職業では、YouTuberが1位(女子は9位)となりました。実際に子どもたちが将来、YouTuberになりたいと言ったときのためにいろいろと調べてみました。現在は誰でも簡単に動画をアップロードできる時代です。趣味や仲間同士で楽しむ動画投稿なら心配は少ないですが、収入を得て生活するにはどんなことが必要なのでしょう。

- まずYouTubeの動画は、1再生ごとにおおよそ0.05~0.7円の収入とされています。実績や動画の内容によって変わるようです。

- 再生数以外で実際に収入を得るためには、まずは登録者数が500人以上、過去90日間で動画を3本以上アップロードする、公開している動画が1年間で3000時間以上(ショート動画では90日間で300万回)再生されていることが必要です。こうすることでチャンネルメンバーシップに加入して、ファンからの月額料金から一部を受け取れるようです。その他にもオリジナル商品やグッズの販売、ライブ配信中の投げ銭などが可能になるようです。

- 登録者数が1000人以上になると、動画中に流れる広告収入が得られます。ただし公開している動画が1年間で4000時間以上(ショート動画では90日間で1000万回)再生されていることが必要で、8分以上の動画でしか広告は流れないようです。

- 一般的に10分の動画を作るためには、10~15時間以上の時間が必要とされ、プロのYouTuberでは30分を6~9時間で作れるとも言いますが、初心者はずっと時間がかかるでしょう。ただ、ここまでがんばっても人気に左右されることです。登録者やファンの数が少ないとほとんど収入を得ることができず、登録者1000人でも5000~30000円が目安で、1カ月生活するためには登録者1万人以上は必要のようです。札幌聾学校の子どもの数が58人で職員を入れても120人程度と考えると、1万人はかなりの数です。その他にも顔や声、個人情報を出してしまったら、危険なことが起こってしまう心配もあります。みなさんはどう考えますか？



YouTubeに限らず、コンピュータやインターネットを適切かつ安全に使うためには、大人もまず、調べて考えること、使ってみることが近道かもしれません。お子様と一緒にいろいろなことを

試してみてください。



幼児児童生徒の様子



幼稚部 なつやすみ さくひんてん



幼稚部の子どもたちは、毎年夏休みの期間中に、保護者と一緒に作品の制作に取り組みます。今年も、様々な個性あふれる力作が出揃いました。

休み中に家族で行った場所の思い出を表現したものや、好きな工作に一生懸命取り組んだもの、段ボールやビニル袋など身近な材料を使って作った大型の作品など、子どもの思いや作っているときの様子、表情などが伝わってくる作品ばかりでした。作品展は冬休みにも開かれます。次はどのような作品が集まるのでしょうか。（島田）



幼稚部 秋の遠足

さわやかな秋風の中、秋の遠足を行いました。年少組は、シシオザルに大盛り上がり。子どもたちの近くをぐるぐる回るシシオザルに、キャーキャー大歓声をあげていました。年中組は、チェックポイントでもらえるキューブブロックを励みにがんばって歩いたり、は虫類館で展示されている生き物がどこにいるか探すのを楽しんだりしました。年長組は、名前を呼ぶと、絶妙なタイミングで飼育舎から出て来るホッキョクグマの「ララ」に釘付けでした。

がんばって歩いた後のお弁当やおやつは、とってもおいしくて、楽しい秋の遠足となりました。（齊藤）



小学部 音楽ワークショップ

バスに乗って小学部全員で、Kitaraの音楽ワークショップに参加しました。普段見ることのできないプロの演奏に加え、ハチを光で表したり、楽器だけでなくスカーフを使ったりと幻想的な雰囲気の中、とても素敵な時間を過ごすことができました。子どもたちは、事前に作って持って行った卵形のマラカスを大事に持ち、本番ではドキドキしながら振って楽しんで参加していました。（山田）



～10月行事予定～

10月26日（土）は「学習発表会」です！

- 1日（火）キタラファーストコンサート（小6）
SC来校日
- 2日（水）朝会、認証式（中）
月曜日課
- 4日（金）参観日、英検（一次）
PTAふれあいフェスタ
- 7日（月）学習発表会特別日課（幼）～25日
朝会、任命式（小）
- 8日（火）校内放送（幼）、ALT来校
- 9日（月）校内放送（小）、耳鼻科相談日
- 10日（木）学力テスト総合B（中3）
校内放送（中）、ピクニック（乳）
PTA手話サークル
避難訓練（舎）
- 15日（火）二計測（幼）

- 17日（木）全日聾研東京大会（～18日）
- 18日（金）児童総会（小）
全聾P家庭教育を考える部会（東京）
- 21日（月）ゲストティーチャー（中）
健康相談日
- 23日（水）学習発表会総練習（午前授業）
- 26日（土）学習発表会
- 27日（日）道特P合同大会（石狩後志大会）
- 28日（月）振替休業日
- 30日（水）誕生会（幼）、ALT（中）
第2回学校運営協議会
- 31日（木）PTA社会見学、ハロウィン（舎）

【日にち未定】
視力検査（全学部）
小5校外学習（テレビ局）